

各 位

会社名 イーソル株式会社
 代表者名 代表取締役社長 長谷川 勝敏
 (コード番号：4420 東証マザーズ)
 問合せ先 取締役経営企画室長 久保田 伊佐雄
 (TEL. 0120-065-166)

連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 30 年 9 月 6 日に公表しました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 30 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 30 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり当期 純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,388	495	477	340	79.80
今回修正予想(B)	8,761	637	622	470	109.56
増減額(B-A)	373	142	144	129	—
増減率(%)	4.4	28.8	30.3	38.0	—
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 12 月期)	7,546	432	445	348	85.45

(注) 1. 当社は、平成 30 年 10 月 12 日付で東京証券取引所マザーズ市場へ上場しましたが、前回発表予想の 1 株当たり当期純利益は公募株式数 (850,000 株) を考慮した予想期中平均株式数により算出し、オーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数 (155,200 株) は考慮しておりません。一方、今回発表の 1 株当たり当期純利益は公募株式数 (850,000 株) 及びオーバーアロットメントによる売出しに関する第三者割当増資に係る株式数 (155,200 株) を考慮した期中平均株式数により算出しております。

2. 平成 30 年 7 月 2 日付で、普通株式 1 株につき 10 株の株式分割を行っております。上記では、平成 29 年 12 月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1 株当たり当期純利益を算出しております。

2. 修正の理由

売上高については当社が注力市場と位置付ける自動車関連を中心に想定通り伸長しております。これにより売上総利益も伸びる見込みであります。加えて、計画していた M&A や投資案件、基幹システムの導入等の戦略費用の多くが来期以降へずれ込み、さらに持分法適用関連会社である株式会社オーバスとの取引に係る未実現利益の調整額が同社製品の販売進捗により、マイナスからプラスになる見込みとなりました。これらの要因がそのまま営業利益の増加に寄与する見込みです。

以上の結果、通期の連結業績を上記の通り上方修正いたします。

なお、税務上の試験研究費特別控除、所得拡大促進税制の適用を考慮した結果、親会社株主に帰属する当期純利益は他の段階利益に比べて増加しております。

以 上